

# 相産だより

誠実 創造 努力



## 自転車マナーアップ教室

4月22日(水)5校時、自転車マナーアップ教室が開催されました。講師は、相生警察署交通課の早見周作氏です。今年4月1日から法改正により、対象16歳以上の自転車の交通違反に対し、青切符を交付する交通反則通告制度が導入されました。警察官の警告に従わず違反行為を続けた場合や、歩行者・通行車両に危険を生じさせる行為、交通事故につながるような悪質・危険な違反行為は、取締りの対象となります。自転車安全利用五則である、①車道が原則、左側を通行、歩道は例外、歩行者を優先 ②交差点では信号と一時停止を守って、安全確認 ③夜間はライトを点灯 ④飲酒運転は禁止 ⑤ヘルメットを着用の5点を遵守しなければなりません。また、警察



官を装い、反則金を要求する詐欺が勃発、被害も発生しています。新制度を熟知し、一人一人がルールを守り、譲り合いの精神を持ち、命の大切さを肝に銘じることが大切です。交通事故は相手を傷つけるのみならず、自分や家族の人生をも変えてしまいます。とても恐ろしいことです。最後に早見氏は、自転車に乗るときは「必ずヘルメットをかぶる」、これは命を守るルールであることを明言されました。

## 薬物乱用防止教室

4月22日(水)6校時、薬物乱用防止教室が開催されました。講師は、姫路南少年サポートセンターの大塚清信氏です。最初に、ビデオを視聴しました。会社員の女性が同窓会をきっかけに、友人から誘われ薬物に手を出し、次第にそれが常習化、薬物なしにはいられなくなり、その結果、心身ともに疲弊し、身を滅ぼしていくという衝撃的な内容でした。毎日の生活の中では、楽しい日ばかりではなく、いやなことや、辛いことの方が多いかもしれません。つい、安易な方向に行ってしまうが



ちです。しかし人間は逆境の時にこそ、その資質が問われます。苦しいことや悲しいことを乗り越えた時に、人は強くなり、その先の希望が見えてきます。自分に負けない、強い心を培っていかねばなりません。薬物に手を出したことで、自分の人生や友人まで失うことにもなり、特に家族に対し深い悲しみと苦しみを味わわせてしまうこととなります。自分の命を大切にしましょう。ひいては周りの人の幸せにつながります。

## PTA総会・授業参観

5月9日(土)、4校時に授業参観、午後からPTA総会、3学年進路説明会などが行われました。授業参観では、機械工作や原動機実習など、真剣に作業している姿をみるのができた、またミシンやアイロンを使ったエプロン作りなど、楽しく授業を受け、頑張っている様子を見られてよかった、という感想をいただきました。



本校は一昨年、創立80周年を迎えました。開かれたPTA活動を通じ、脈々と受け継がれた地域社会との連携がさらに深まり、相産高の良き伝統が継承されています。生徒も感性豊かで、素直な心を持った人間性が培われているように思います。今後100周年に向けて、本校の更なる発展のために、生徒・PTA・職員が丸となって歩んでいきたいと思えます。